

議員全員協議会会議録	
1 開会日	令和2年 5月18日 午後 1時30分 開会 午後 2時48分 閉会
2 場 所	議会議場
3 出席議員	高橋英俊 鈴木京子 石川則男 竹内恵美子 清田文雄 吉川 諭 鈴木たまよ 奥津勝子 二宮加寿子 渡辺順子 吉川重雄 飯田修司 玉虫志保実 柴崎 茂
4 説明員	町側出席者 中崎町長 栗原副町長 野島教育長 和田政策総務部長 大槻教育部長 曾根田財政課長 野崎財政係長 齋藤総務課長
5 職務のため出席した職員	局 長 岩本清嗣 書 記 熊澤 晃
6 その他	一般傍聴 なし

(1) 町長あいさつ

(2) 町報告事項

- 6月議会に提出を予定している大磯町一般会計及び特別会計補正予算(案)について

【主な質疑】

なし

(3) 各委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配布により説明は省略。

(4) 主な報告事項

①委員長等からの報告

- 議会運営委員会の概要・・・渡辺委員長

5/11 (臨時会の提出予定議案及び日程)

5/18 (6月定例会の提出予定議案、陳情の取扱い、9月定例会会期予定、議会改革検討事項、その他)

- 総務建設常任委員会の概要・・・奥津委員長

4/24 協議会 (第五次総合計画基本構想(素案)、「大磯町まちづくり基本計画」の策定状況、使用料・手数料等の見直しに関する基本方針(素案))

5/14 委員会 (大磯駅周辺安全・安心にぎわい創出事業における委託業務の進捗状況について)

5/14 協議会 (大磯町歴史的建築物の保存及び活用に関する条例の制定、大磯町役場本庁舎整備について)

- 福祉文教常任委員会の概要・・・吉川(重)委員長

5/11 委員会 (中学校給食の再開に向けた進捗状況について)

5/11 協議会 (大磯町介護保険条例の一部改正、大磯町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正)

- 議会だより編集委員会の概要・・・玉虫委員長

5/18 (第200号の反省、第201号の編集日程・掲載予定記事)

②監査委員からの報告・・・清田監査委員

4/27 例月出納検査

③その他

(5) 事務局からの報告

①令和元年度政務活動費について(使途状況の公表)

令和元年度政務活動費について、5月1日付けで収支報告書を町長に提出、町ホームページに掲載及び町民情報コーナーに配架しました。

②その他

町部局より「事業評価シート」が提出されたので議会図書室に配架した。

(6) その他

○議員報酬の削減について…清田議員

6月の期末手当を削減し、新型コロナウイルス感染症対策のために活用、また、議会としても今回の厳しい状況を町民と共有するべく提案する。

【主な質疑（意見）】

問：議会のやるべき仕事は執行者側のチェック。国の地方創生臨時交付金の活用も不明。3.11のとき同様、法令に反しないよう時間をかけて議会総意で考えるべき。

問：町政への信頼感が深まっていない。国の不足なところは医療機関へのバックアップ。使途が特定できるのか、できないのであれば医療機関への寄附をしていきたい。

答：予算の提案権は議会にはないので指定はできない。町民のためにコロナ感染症対策として使って欲しいと要望はできる。

問：今回の提案に賛成。感染症対策に使うという条件を付ければよいと思う。

問：近隣の状況、その削減理由は何か。

答：町村では、湯河原町、愛川町、箱根町で期末手当の削減を実施。

理由は不明だが、箱根町は観光業への影響が大のため実施とのこと。

問：三役の給与削減と言いながら、庁舎建設、駅前や中学校給食もやるという。他の町に寄附、町外の福祉施設に託すとか考えては。

問：議長と議員の削減率の違いなど議論が必要。

問：法に反しない方法で有効に使うことを皆で考え意見交換したい。

問：絶対反対。町長のお金の使い方を厳しく問うのが我々の仕事。時間をかけて議会一致で決めるべき。

問：第2波第3波、新たな問題も出てくる。本当に必要なことに使うべき。時間をかけて考える必要がある。

問：PCR検査、抗体検査が必要となる。改めて提案してはどうか。

問：収束までまだ長い。時間をかけて考えていきたい。

問：議会で町へ要望を出したが未実施の項目がある。医療関係への支援など明確にするなら賛成したい。

問：議員の給与と定数については、全会一致が基本。その前提で議員各位に話しているのか。

議長：清田議員の提案を受け、全協で回り、議員各位の意見を聞くべきと判断した。それを受けて清田議員がどう考えるか。

答：皆で話し合ったことに価値がある。本日の内容を踏まえて改めて提案したい。

議長：皆さんとよく検討したいとのこと、その際には協議していきましょう。

○ICT化について…吉川諭議員

問：ICT化を進めるにあたって、早急に条例改正等の改正を進めるべき。実務としてどういう手続きが必要か、具体的にどういう会議体で進めるのか知りたい。

議長：本日の議会運営委員会で方向性を決定したとおり、議会運営委員会にお任せすることになる。議員各位に配付したアンケートの実施がまず第一歩となる。

答：議会運営委員会の議会改革の検討の中で進めていくが、ICTに明るい人により部会を立ち上げる方法もある。

※次回の議員全員協議会は、6月16日（火）午後1時30分からの予定。

大磯町議会協議又は調整を行うための場の運営に関する規程第7条の規定により署名する。

令和2年 6月 8日

大磯町議会議長 高橋 英俊